

**産技大enPiT  
プログラムの特徴**

アジャイル開発方法論「スクラム」を軸として、アジャイル開発の本質理解と実践力の獲得を目指します。産業界でのアジャイル開発経験の豊富な講師やメンター陣によるサポート体制で、チームの自己組織化や継続的な改善を行うための方法を学び、生産的で創造的なものづくりの方法を修得します。チーム開発を円滑に行うための各種のモダンな道具についても理解します。

**取り組みの柱は全国の高等教育機関との連携による夏合宿とFD合宿の開催**

大学院生向け第1期enPiTで形成された大学や企業との連携を強化し、本学プログラム受講生に限らず、広くenPiT受講中の大学生・高専生向けに、アジャイル開発の実践を支援するための教材の提供や講師の派遣、夏合宿への複数校からの参加者受け入れを実施しています。

[本学enPiT受講生] 嘉悦大学5名、仙台高等専門学校1名 [夏合宿参加校(左記以外)] 琉球大学30名、広島大学6名、九州工業大学5名

また、第2期enPiTの重点項目でもある教員のためのファカルティ・デベロップメントをビジネスシステムデザイン分野においてリードし、教員のみならず企業人や学生も交え、実践教育のための発展的な取り組みについて意見交換するFD合宿を年2回開催しています。



**夏合宿を中心に実践プログラムを構成**

7月～8月(基礎知識学習)

8月～9月(PBL基礎)

10月～12月(発展学習)

成果発表会

アジャイル開発概論

アジャイル  
チームキャンプ

ビジネスシステムデザイン実習  
(分散PBL)

ビデオ教材を視聴し、アジャイル開発の歴史的背景を知り現代的なソフトウェア開発の教養を学びます。

5日間の合宿を通して、チームとしてのアジリティ向上と、コラボレイティブ開発のための技術取得を行います。

アジャイルチームキャンプで習得したチーム開発の手法を実践し、プロジェクトを通じて自発的、体験的に学びます。スクラムによるWebアプリケーション開発を行い、1週間ごとに計画、開発、レビュー、ふりかえりを繰り返します。

1日目  
理論

2日目  
体験

3日目  
練習

4日目  
実践

5日目  
まとめ

アジャイル開発  
概要

アジャイル開発  
ワークショップ

TDD+モブ  
プログラミング

チーム開発

まとめとPBL  
実践計画

